

11月、霜月になりました。

錦秋の候、紅葉まっさかりの季節になります。とはいえ、それは本州のことで、南北に長い日本列島ではそれぞれの晩秋の風景がくり広げられていることでしょう。

11月は大学では学園祭のシーズン。中高では進路を目指しての勉強に一段と熱が入る時期です。ただし、最近の大学受験ではこの段階ですでに推薦などで進路が決まる生徒も多く、勉強のモチベーションをいかに維持するかに苦戦している先生方も多いかもしれません。

そんな季節、今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【1】最新活動報告

10月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

冬の経済教室の案内、部会の案内を紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

10月に行われた活動を報告します。

■東京部会 (No. 78)を開催しました。

日時：2015年10月8日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

内容の概略：参加者13名。

(1) 宮尾尊弘先生（筑波大学名誉教授）が、アメリカから帰国され、約一年ぶりに参加され、先生より冬の経済教室の講義の概要の説明がありました。

「学習のあり方：主体的に学ぶ態度と課題解決型の能力の育成」というテーマで、アメリカの二つの大学で実際に講義された経験をもとに、日本の教室でも実施可能な提案の説明と質疑が行われました。

(2) ついて、宮尾先生から、冬の教室の後半のテーマ「公共経済学を教える方法」に関しての概要が紹介されました。これは、昨秋の経済教室でもとりあげられていたクラス実験を中心とした教授法です。二つの報告の質疑などを踏まえて、冬の教室を充実したものにするために、さらに東京部会で準備を進めることが確認されました。

(3) 各地の部会の報告が、篠原代表からありました。

(4) 教材開発委員会から「時間の経済学」ワークシートの説明がありました。

これは、夏の教室でも紹介された、埜枝里子先生（都立府中東高）が企画した授業案をもとにしたワークシートで、『レインボーニュース 28号』（証券知識普及プロジェクト）に掲載されている授業紹介とリンクさせてワークシートを使いながら授業ができるような構想で作成したものです。

今後、修正を加えて、教材として配付することになっています。

(5) 実践報告・情報提供が二つ。

① 升野先生（筑波大学附属中）から、同中学の入試問題の紹介。選択問題でも思考力を試す問題が作成できるという例です。

② 新井から、経済教育学会で報告した、学会の参照基準を巡る議論の紹介とその時のレポートの紹介。の二つです。

部会の内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo078report.pdf>

■ 名古屋部会を開催しました。

日時：2015年10月17日（土） 15時00分～17時00分

場所：椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階 303講義室

内容の概略：参加者13名。

(1) 当日は、大学の学園祭。部会間交流の一環として札幌、東京からもメンバーが参加して、エコノミストと現場教員のコラボでの入試分析、教材の検討など充実した部会となりました。

(2) 野間敏克先生（同志社大学）からネットワークの活動報告を受けた後、札幌部会から参加された兼間昌智先生（札幌市立常盤中）から「入試問題を授業で活かすポイントはこれだ！」をテーマに全国の高校入試における経済分野の扱いについての分析と紹介がありました。活発な質疑、討論が行われました。

(3) 新井（上智大学非）より「教材開発と部会活動」をテーマに、埜枝里子先生が開発された「時間の経済学」の紹介と経済教育ネットワークの部会の活動の在り方についての提案と質疑討論が行われました。

(4) 三枝利多先生（目黒区立東山中）より「経済と法の授業－私たちが暮らす社会のしくみとは？＜社会保障＞－」をテーマに法と経済に関する教育についての紹介がされました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya003report.pdf>

■京都部会 (No. 31)を開催しました。

日時：2015年10月23日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto031report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

*イベントの予定です。

■冬の経済教室 in 東京を開催します

昨年好評だった、宮尾尊弘先生(筑波大学名誉教授)による経済教室を冬の経済教室として開催します。今年は、日本取引所グループ(東京証券取引所)と共催となります。テーマは、「次期学習指導要綱を先取りする：学習のあり方と『公共』の教え方」です。

内容は、主体的に学ぶ態度と課題解決型の能力の育成を目指す学習の在り方と、公共経済学を教える方法の二部構成を予定しています。

日時： 2016年1月23日(土) 14:30～16:30(受付開始14:00～)

場所： LMJ 東京研修センター

東京都文京区本郷1-11-14 小倉ビル3階

(JR 総武線 水道橋東口より6分)

内容、参加方法などの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016Tokyofuyu/keizaiR.pdf>

■冬の経済教室 in 札幌を開催します

夏の経済教室の成果を生かした冬の経済教室を札幌で実施いたします。こちらも日本取引所グループ(東京証券取引所)と共催です。

大杉昭英先生のアクティブラーニング論、小巻泰之先生の国民所得の解説、塙枝里子先生の授業提案などを予定しています。

日時： 2016年1月30日(土) 13:00～17:00

場所： キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北5条西5丁目7番地

sapporo55 5階 (JR 札幌駅紀伊国屋のビル)

内容、参加方法などの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2016%20keizaikyoushitsu/2016Sapporofu/yukeizai.pdf>

■年次大会を開催します。

日時： 2016年3月19日 13:00～17:00

場所： 同志社大学 寧静館

内容に関しては、決まり次第 HP にアップいたします。

* 定例部会のお知らせです。

■東京部会を開催します。

日時：2015年11月26日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部 本館2階中会議室

内容、参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/tokyo079flyer.pdf>

■大阪部会 (No. 46) を開催します。

日時：2015年11月28日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階

内容、参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/0saka46flyer.pdf>

■名古屋部会 (No. 4) を開催します

日時：2015年12月12日(土) 15時00分～17時00分

場所：椙山女学園大学 現代マネジメント学部棟3階 303講義室

内容、参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/nagoya/Nagoya004flyer.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■企業博物館へ行こう

博物館は情報の宝庫です。大は国立博物館から小は町の小さな博物館まで多様ですが、今回は企業が設立した博物館に注目です。

企業博物館は、多くは企業の社会的責任 (CSR) 活動の一環として開設されています。その意味では、創業者の顕彰だったり、会社の PR の側面は否定できません。でも、そういった狭い目的を超えて、産業史、経済史、またその企業が属している産業の現状を知らせる重要な教育的機能を果たしているものが多くあります。

日本経済新聞に昨年掲載された、夏休みの自由研究のためにランキングされた企業博物館では、東の1位は東芝の未来科学館（川崎市）、西の1位はトヨタ博物館（愛知県長久手市）でした。先生たちの地元にも多くの企業博物館が開館されていると思います。自身で見学するもよし、生徒の自由研究のヒント探しに紹介するもよし、場合によっては生徒を引率して見学に行ってもよしの場所です。

個人的な話になりますが、最近、トヨタ産業技術記念館（名古屋市）とTOTOミュージアム（小倉市）を見学して企業博物館の価値とおもしろさを再発見しました。前者では、自動織機の開発に関連して綿工業に関する様々な実物を通じた学びができました。後者では、衛生陶器という生活必需品の普及に

挑戦した企業家精神とトイレを通じた世界の事情が学べました。

企業博物館がどこにあるのか、その情報は、ネット上で「企業博物館」を入力すると簡単に検索ができます。

ちなみに、企業博物館に分類できないかもしれませんが、日本銀行の貨幣博物館（東京）がリニューアルして、11月24日からオープンします。どんな展示がされるようになったか注目です。（新井）

【 4 】編集後記（みみずのたはこと）

ネットワークメンバーの北海道の菅原晃先生が、新しい著書を発行されました。ベストセラーになった一昨年の『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』、昨年の『使えるマクロ経済学』に続いて、三冊目の本です。タイトルは『使えるミクロ経済学』。現役の教員が一般向けの本を毎年一冊のペースで刊行する。なかなかできることではないと感心しています。

経済教育では経済学を教えるわけではありませんが、教える人間は経済学のしっかりしたベースを持つことは必要なことでしょう。その意味からも一度手に取ってごらんになるとよいと思います。（新井）

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>
